SANJO 会報

A booklet about the events in Sanjo.

9
2026

三条商工会議所会報
VOL.885
9/25号

毎月25日配信

三条商工会議所が発行する、ビジネス情報誌



鉄から始まる、未来のものづくり。

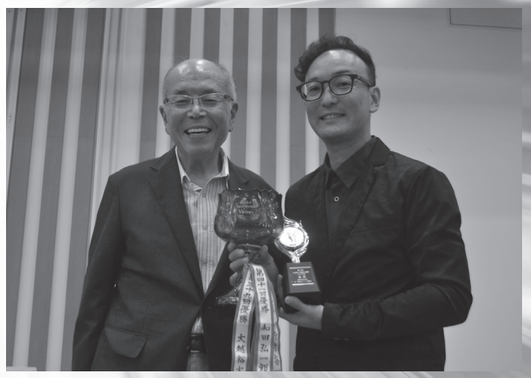
株式会社 野水鋼鐵店
取締役 経営企画部長 水井 彩加 氏

02..... 第43回会頭杯 ゴルフ大会
03..... 石垣ずいそう
経営思考転換セミナー
04..... 会員訪問
06..... 青年部だより
燕三条 Makers Journey
07..... AI活用最新情報研修会
「三条商工会議所福祉制度キャンペーン」のご案内
08..... LOBO調査

SANJO CHAMBER OF COMMERCE & INDUSTRY
三条商工会議所

第43回会頭杯ゴルフ大会





当所恒例の第43回会頭杯ゴルフ大会が９月12日、下田城カントリー倶楽部で開催され、過去５年間で最も多い234名（うち１名リタイア）が参加した。優勝は（株)岡久の塩森篤博さん、ベストグロス賞１位は（株)河井工業の佐藤保彦さん。前日来の降雨が続くとも思われたが、開催当日には雨も上がり三条市の最高気温は27.7℃の夏日。日中は初秋を感じさせるカラリとした風も吹いた。



新型感染症禍による中止や延期を経て、近年の参加者数は第40回(令和5年)、41回（令和6年）いずれも230名となっていたが、今回は230名超の参加者数を記録。参加者のうち女性は21人、最年少は25歳、最高齢は87歳だった。



同日午後６時30分から、ジオ・ワールドビップで開催した表彰式・パーティ会場では今年の熊本地震被災地への義援金を募り、出席者から214,357円が寄せられた。集まった義援金は三条市を通じて被災地へ送られる。

主な表彰結果は、下表のとおり（敬称略）。

【総合成績】

順位	氏名	事業所名	GROSS	NET
優　勝	塩森　篤博	(株)岡久	80	65.6
準優勝	山崎　隆夫	山崎製作所	90	69.2
第３位	藤田　英昭	(株)藤田自動車	79	69.4
第４位	川上　雄介	カワカミ	83	70.2
第５位	青木　則之	(株)アオテツ	79	71.0
第６位	長谷川隆功	長谷川隆功税理士事務所	92	71.2
第７位	白倉　徳幸	三条信用金庫	99	71.8
第８位	金山　一広	北陸工業(株)	112	72.6
第９位	中原　尚彦	(株)ナナコ	87	72.6
第10位	春日　宏明	(株)第四北越銀行三条支店	79	72.6

※同NETは年長者を上位とする

【ベストグロス】

	氏名	事業所名	GROSS
ベストグロス	佐藤　保彦	(株)河井工業	77
セカンドグロス	藤田　英昭	(株)藤田自動車	79
サードグロス	青木　則之	(株)アオテツ	79

石垣ずいそう

～特別編「会頭杯ゴルフ大会優勝者のコメント」～

「ハプニングの先に待っていた最高の幸運」



株式会社岡久
塩森 篤博

歴史ある第43回会頭杯ゴルフ大会に初参加させていただき、まさかの優勝という身に余る光栄を賜りました。本来であれば弊社の会長をはじめとする役員の方々が出場されるような格調高い大会であり、私のような者がこのような賞をいただき、恐縮しつつも大変嬉しく思っております。

素晴らしいコンディションを整えてくださった会場や関係者の皆様、そしてご一緒させていただいた同伴者に心より感謝申し上げます。優勝は同伴者のお名前の通り、私に最高の「ラッキー」を運んできていただいたおかげです。

実は表彰式会場へ向かう最中、足をとられてドブに落ちてしまうというハプニングに見舞われました。「何か不吉なことの前触れではないか」とゾッとしながら急いで会場に駆けつけたところ、到着するやいなや、シマト工業(株)の斎藤直人社長（大会実行委員）から裏へ呼び出されました。一体何が起きたのかと生きた心地がしませんでしたが、告げられたのはまさかの「優勝」という吉報でした。ハプニングの先には最高の幸運が待っていたようです。

素晴らしい親睦の場である本大会が、50回、60回、70回、そして100回と永遠に存続していくことを心より期待しております。この度は誠にありがとうございました。

静岡県立大・岩崎教授講演【経営思考転換セミナー】

「引き算」の思考で自社の強みを研ぎ澄ます

当所は９月９日、経営思考転換セミナー「会社を強くする 逆転発想 引き算する勇気」を開催した。講師に静岡県立大学経営情報学部教授で学長補佐、地域経営研究センター長を務める岩崎邦彦氏を招いたもの。セミナーでは、自社の本当の価値を見直し、強みに経営資源を集中する思考や、付加価値に対する捉え方を従来の「足し算」から「引き算」へと転換することが強調された。

講師の岩崎氏は冒頭、日本の企業の99％を占める中小企業が元気になってこそ地域が活性化されると述べた。その上で、規模拡大や品揃えの多さ、低価格といった「単一の物差しで測れる競争」で、中小企業と大企業が戦う危険性を指摘した。大企業に求められるのが価格や量であるのに対し、中小企業や個人店に期待されるのは「個性」、「専門性」、「独自性」といった数字では測れない付加価値であり、規模の小ささを弱みではなく、小回りの良さや尖った強みに変え、「拡大せずに強くなる」経営思考への転換を促した。

顧客獲得に悩むあまり商品数や機能を増やしてしまう「足し算」は、中小企業にとっては悪循環であるとした。「色々なこと」に対応しようとすることは、企業が本来持つ個性やこだわりを希薄化させ、消費者にとって特徴の伝わらない存在になるリスクが高いという。重要なのは、売り込みによる「押す力」ではなく、顧客の心を惹きつける「引く力（引力)」であり、無駄を削ぎ落とした「引き算」によるシンプルな提案こそが強い印象と満足感を与えると説いた。

しかしながら、単なる手抜きは「悪い引き算」であって、企業の軸を明確にした上で価値を凝縮させることが「いい引き算」と言える。自社の弱みと思われる要素を、視点を変えて魅力へ転換する「逆転の発想」や、無難・平均的な状態からの脱却が強く求められるとした。

No. 157 会員訪問

株式会社 野水鋼鐵店

取締役 経営企画部長　水井 彩加氏



鉄屋だからといって鉄のことだけをしない

来年2027年で創業120周年を迎える鉄鋼卸売業者。工具、農機、建材、自動車、洋食器や金属ハウスウェアなど、多岐にわたる地場企業と鋼材メーカーをつなぐコーディネーターとして地域を下支えしてきた。創業120年の鉄鋼卸売業という、文字通り手堅い印象の同社にあって、屋上農園を活用した社会貢献事業や鉄の端材を使ったワークショップ、製菓販売（イベント時）まで、ユニークな取り組みで野水鋼鐵店を発信しているのが水井氏。「鉄屋だからといって、鉄のことだけでなく様々な発信を行うのは、弊社の社風に共感してもらいたいからこそ」と話す。



2026年度健康経営優良法人ネクストブライト1000（※中小規模法人部門の上位1000社）に認定を受けた健康経営の取り組み、2012年にスタートした社外報「野水マガジン」の発行、社会貢献事業としてのスポーツごみ拾い大会への参加、フードバンクへの寄贈を目的とした屋上農園の運営などは、社員で組織する委員会が中心となって行う。

株式会社 野水鋼鐵店

三条市柳川新田982
TEL：0256-38-2241
HP：https://www.nomizu-koutetsu.co.jp/
Instagram：https://www.instagram.com/nomizu1907/

HP　　Instagram



各委員会は２年の任期制で委員長には役職者以外が就任することで、リーダーシップや組織運営の成功体験を社員１人ひとりに積んでもらう狙いもある。これは武田恒夫社長が掲げる「社員の成長＝会社の成長」にもつながっている。

１人の社員を大切にする思いから

「野水マガジン」創刊のきっかけの一つが、水井氏と同年代の社員の入社だった。「2009年に家業である野水鋼鐵店に入社し、在庫担当の事務として２年目。若さもあり仕事が退屈に感じられることもあった中で、同年代の社員が入社。この社員を喜ばせるような仕事を考えなければならないと思い、２人で始めたのが野水マガジンでした」と水井氏。１人の社員を喜ばせたいという思いは、健康経営や社会貢献活動の根幹にもなっている。

水井氏は、野水マガジンの効果について、「従来、営業職以外の社員がお客様の会社や現場に足を踏み入れることはほとんどありませんでした。しかし、野水マガジンの企画をきっかけに経営企画部の社員が客先に足を運び、お話を聞く機会ができた。何気ない会話ですが、営業社員が聞くものとはまた違ったお話を聞き、野水の仕事に落とし込んでいく好循環が生まれています」と話す。

「常設ものづくり体験施設の開設」ふるさと回帰のイノベーションを



鋼材メーカーから鉄を仕入れ、シャーリング加工し、地場企業へ「流通加工」を手掛ける同社。取引先の約８割が燕三条地域、近年では東北、北関東にも販路を開拓しつつあるが、「国内の粗鋼生産量は減少の一途を辿っており、近い将来、私どものような鉄屋の淘汰は目に見えています。そういった中で野水鋼鐵店として生き残っていくため、鉄は大切にしながら野水ならではの付加価値を創造していくことが求められます」と水井氏は話す。その付加価値の一つが、来年９月、同社敷地内に開設を予定する常設ものづくり体験施設。


水井氏

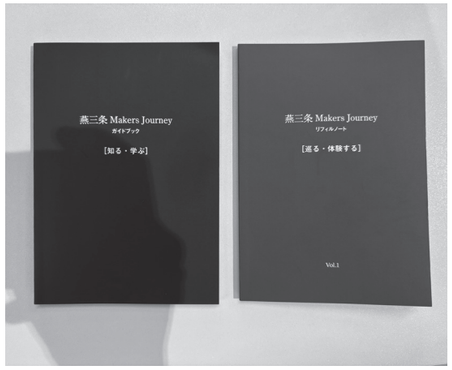
野水鋼鐵店ではこれまでにも、鉄の端材を使った鉄琴、ベルなどの楽器づくり、アート作品のような「スチールクラフト」のワークショップを、イベントとして開催してきた。口コミで児童クラブ向けに実施したこともあり、野水鋼鐵店の知名度向上にもつながるなどワークショップの存在感は増している。

水井氏は、「この地域のものづくりを支えるのは、未来を担う子どもたち。ものづくりで人を育てることで、三条で育った子どもたちが進学や就職で県外に出ても、いずれふるさとに戻るイノベーションを起こしたい」と言う。これは野水鋼鐵店以外の地場企業とも連携、子どもたちの想像を創造するものづくり体験施設で、「ものづくりの原体験、ふるさとを本気で好きになれる楽しさが、将来の職業選択に生かされればと考えます。転出超過という地域課題を解決することこそが、回りまわって自社の利益になる」、売り手、買い手、世間にも喜ばれる三方よしの精神こそ、120年続く同社のアイデンティティと言える。



青年部だより 産業観光の新たな入口に

オリジナル手帳「燕三条 Makers Journey」



当所青年部は、燕三条地域の産業観光を促進するオリジナルのガイド手帳「燕三条 Makers Journey（メーカーズ ジャーニー）」を企画・制作した。ものづくりの技術が集積する当地域において、工場や職人、技術に加えて、地域の暮らしそのものを観光資源として捉え、国内外からの観光客がまち全体を周遊するきっかけをつくることを目的としている。単に名所を巡る「点」の観光から、手帳を手掛かりに、ものづくりや職人の想いに触れ、自分だけの物語を紡ぐ「線」の探訪へと導くしかけとなっている。

一般的なガイドブックとは異なり、訪れた場所や出会った職人、心に残った景色や言葉、手に入れた道具などを旅行者自身が書き込み、世界に一冊だけの「産業探訪記」をつくり上げていく記録型の手帳。地場産業に携わっている青年部メンバーが実際に街を巡り、自らの目で確かめた情報をもとに編集した。

手帳はA６文庫本サイズで、２つのノートブックとビニール製のカバーのセットで1,500円（税別）。１冊目のガイドブック「知る・学ぶ」（20ページ）では、燕三条の歴史や文化、工場見学の際のマナーや心構えを解説する。２冊目のリフィルノート「巡る・体験する」（34ページ）では、青年部メンバーが厳選したおすすめの周遊ルートを掲載。第１弾として金型、農具、刃物、華道具、チタンアクセサリーの５つの工場を巡る三条市内の見学ルートを紹介している。

手帳を収めるしおり付きカバーは、三条市内のビニール加工会社（株）いづみ商会の自社製品を採用しており、手帳そのものでも燕三条地域の地場産業の技術に触れられる。

手帳を企画した青年部では、今後も新たな巡回ルートのリフィルノートを追加していく予定で、インターネット上のメディアプラットフォーム「note（ノート）」との連動も実施する。地域外からものづくりなどに関心の高い旅行者を呼び込むだけでなく、地元の住民が地域の魅力を再発見し、地域に対する誇りを育む一冊としても期待される。


完成披露の記者会見

卸商業部会

画像・動画生成AIのビジネス活用術を学ぶ実践セミナー

当所卸商業部会は９月10日、当所１階チェンバーズホールにて「画像・動画生成AIビジネス活用術セミナー」を開催した。講師に三ツ谷電機株式会社の三ツ谷大氏を迎え、生成AIの具体的なビジネス導入手法について理解を深めた。

セミナーでは、閲覧数や表示回数を稼ぐための極端なネット情報に惑わされず自社の評価軸を持つことや、生成AIに一度で完璧を求めず、対話と修正を繰り返す重要性が示された。画像生成の活用では、白背景の写真素材を用意すれば数分から15分程度でウェブ用の宣伝画像やチラシが制作できる手法を解説。「ロゴを80％縮小」など生成AIへ具体的、段階的に指示を出し、デザインを調整する手法が紹介された。

動画生成とSNSでの情報発信においては、自社や商品のPR動画を生成することで商品の購入や問い合わせといった「実際の成果に繋がる割合（成約率）」が約２割増、案内がクリックされて詳細ページが開かれる割合も1.7倍になるといった導入メリットが示された。



実演では、カーディガン着用のモデル画像をAIで生成し15秒の動画に仕上げる実例や、静止画の一部を動かしてお客様の目を引くテクニックも披露された。
また、SNS投稿時の「AI生成コンテンツ」などと明記することの徹底、有料ツールへの適切な投資と人間側のアナログな工夫を組み合わせることの重要性も強調された。

「三条商工会議所福祉制度キャンペーン」のご案内

三条商工会議所では「福祉制度キャンペーン」を9/1～11/30（9/1～9/30はアクサ単独キャンペーン）に実施いたします。本推進月間は、『会員事業所の皆さまへの福利厚生のサポート』を目的に、三条商工会議所役職員とアクサ生命推進員による会員事業所への訪問活動を通じて、皆さまの福祉向上にお役立ていただくことを主な目的として取り組ませていただきます。

健康経営をはじめとする福利厚生や将来への備えなど、会員事業所の役員・従業員の皆さまが、安心して働くことができる環境づくりに向けた、お役に立てる情報提供をさせていただきますので、当所役職員・アクサ生命推進員がご連絡させていただいた際には、是非ご協力いただきますようお願い申し上げます。

【問い合わせ先】
〒955-8603 三条市須頃Ⅰ-20　三条商工会議所
【共済・福祉制度引受会社】
〒955-0092 三条市須頃Ⅰ-20　三条商工会議所会館５F
アクサ生命保険株式会社 新潟県央営業所
TEL：0256-35-7473
詳しくはアクサ生命ホームページ(https://www.axa.co.jp/)をご参照ください。

8月LOBO調査（商工会議所早期景気観測）

調査期間:令和8年8月14日～20日
調査対象:全国の321商工会議所が2,396企業にヒアリング

※DI値（景況判断指数）について

DI値は、売上・採算・業況などの各項目についての、判断の状況を表す。ゼロを基準として、プラスの値で景気の上向き傾向を表す回答の割合が多いことを示す。従って、売上高などの実数値の上昇率を示すものではなく、強気・弱気などの景気感の相対的な広がりを意味する。
DI＝（増加・好転などの回答割合）－（減少・悪化などの回答割合）
業況・採算：（好転）－（悪化）
売上：（増加）－（減少）

業況DIは、夏休み需要が追い風となり、改善
先行きは、不透明感が拭えず、慎重な見通し

全産業合計の業況DIは、▲20.2（前月比+1.0ポイント）

小売・サービス業では、夏休み需要に伴う観光・帰省客の増加により客足が伸び、改善した。建設業では、中東情勢の緊迫化に伴う調達困難化や資材価格の上昇が落ち着きを見せる中、価格転嫁に進展がみられ、改善した。

一方で、製造業ではエネルギーや原材料価格の上昇に加え、猛暑による生産性の低下が重なり、悪化した。卸売業でも仕入価格の高騰に対する販売価格への転嫁が十分に進まず、悪化した。

なお、熊本地震や千葉豪雨などの自然災害の発生に伴い、供給網の滞りや生産遅延、旅館や飲食店の予約キャンセルなどの影響が聞かれている。

先行き見通しDIは、▲20.1（今月比+0.1ポイント）

先行きは、高水準での賃上げに伴う実質賃金の増加や、気温の低下に伴う行楽シーズンの到来などが、消費マインドの回復を後押しすることが期待される。

一方で、国際情勢の不安定化をはじめ、金利上昇や長期化する円安・物価高に伴うコスト増加が重荷となっている。先行き不透明感が拭えない中、十分な価格転嫁が進まないことも懸念材料となっており、今後の見通しに対しては慎重な見方が強まっている。

8月全産業DIの推移

		全業種	建　設	製　造	卸　売	小　売	サービス
全国	8月の業況（前年同月比）	▲20.2 →	▲16.0 →	▲20.1 →	▲26.6 →	▲24.0 →	▲17.6 →
	先行見通し（3ケ月先の見通し）	▲20.1	▲18.1	▲16.8	▲23.9	▲24.3	▲19.8
北陸信越	8月の業況（前年同月比）	▲23.0 →	▲33.3 →	▲25.0 →	▲42.1 ↓	▲7.4 ↗	▲16.7 ↗
	先行見通し（3ケ月先の見通し）	▲19.0	▲40.0	▲11.4	▲21.1	▲3.7	▲20.4

※→は7月の業況DIとの比較。　±5未満は横ばい（→）、±5以上15未満（↗↘）、±15以上（↑↓）

令和8年 10月 三条商工会議所専門家相談日

ご相談無料

秘密を厳守しておりますのでお気軽にご相談ください！

相談時間:10:00～12:00 ※一部時間が異なります。
会　　場:三条商工会議所3F相談室
（資金繰り相談のみ2F日本政策金融公庫三条支店）

- 税理士による税務・消費税対策相談　7（水）
- 弁護士による法律相談　21（水）
- 事業承継相談　21（水）
- 知的財産権相談　9（金）※13:00～16:00 と 27（火）
- M&A相談　14（水）
- 社労士による労務相談
  行政書士による行政書士相談
  随時お受けしております
- 貿易相談
  BCP相談
  随時お受けしております
- 日本政策金融公庫による資金繰り相談
  随時お受けしております

TEL 0256-32-1311
まずはお電話にてお申し込みください。

※「税務・消費税対策相談」「法律相談」「事業承継相談」「M&A相談」「知的財産権相談」は相談日の**7日前迄**に予約が無い場合は中止となります。（予約締切日が休日の場合は、その前日迄にご予約ください。）

発行所:三条商工会議所（三条市須頃1-20）
TEL.（0256）32-1311 / FAX.（0256）32-1310 / E-mail info@sanjo-cci.or.jp / https://www.sanjo-cci.or.jp /